

## 視察報告書

- 1 視察日時 令和 3年 8月17日 10時00分～12時00分
- 2 視察先 備前市議会 委員会室
- 3 視察目的 タブレット端末の導入経緯及びその運用方法について
- 4 視察参加者 光成 良充・永徳 省二・松田 勲・治徳 義明・牛尾 直人
- 5 視察概要 議会改革検討委員会で議長から諮問のあった議会へのタブレット端末の導入及び運用方法について、検討を進めるにあたり、導入に至るまでの経緯・検討事項、導入費用、導入することによるメリットデメリットなどについて、先進議会の状況を確認するため、すでにタブレットを導入し議会運営等で活用している備前市議会を視察することとした。

視察では、下記の項目について説明を受けた後、質疑応答を行った。

  - ・ I C T機器の活用、タブレット導入を決めた経緯
  - ・ I C T活用プログラムについて
    - ※使用するソフト（文書共有、情報共有、カレンダー機能）
  - ・ 導入により期待できる効果、導入した端末
  - ・ 議会運営方法
  - ・ 費用対効果の検討
  - ・ タブレット使用の規程等
  - ・ 導入前と導入後の変化
  - ・ 備前市議会 I C T活用プログラム実施要領、等
- 6 所感 備前市議会では、平成26年に執行部主導で導入したタブレットを、「どのように活用するか」という視点で使用方法を検討し、現システムを導入した経緯がある。

赤磐市議会は、議会主導で導入の検討を行っており、備前市議会とは導入の経緯が違うが、導入後の運用については参考とする事例も多くあった。
- 7 その他 視察で行った主な質問
  - ・ 通信料の議員負担について。
  - ・ 電子データとして共有している資料の範囲と、その決定過程について（ペーパーレスにしているもの、していないものとの使い分けがあれば、その考え方は）
  - ・ 導入しているソフトウェア等の選考理由は。
  - ・ Wi-Fi の環境整備について。

- ・使用範囲はどこまで認めているのか。(議会活動、議員活動、政務活動、私用) また、議会活動以外での使用を認めている場合、なんらかのルールを設けているのか。
- ・資料を電子データ化して保存する部署はどこか。  
※執行部、議会事務局
- ・ICTが苦手な議員へのフォローはどのようにしているのか。  
また、現在は支障なく使いこなすことができているのか。
- ・議会事務局・執行部の負担軽減、環境負荷軽減について、具体的な数値を算出しているか。等

以上